

令和6年度 国民健康保険税における賦課限度額の引き上げについて

医療保険制度では、保険料負担は、負担能力に応じた公平なものとする必要があるが、受益との関連において、被保険者の納付意欲に与える影響や、円滑な運営を確保する観点から被保険者の保険料負担に一定の限度を設けています。

なお、相当の高所得者であっても賦課限度額まで負担しない仕組みを改める観点(格差是正の解消)から段階的に引き上げを実施しているもので、賦課限度額の引き上げにより中間所得層に配慮した保険税率の設定が可能となります。

令和5年10月27日付、第169回社会保障審議会医療保険部会において、令和6年度における賦課限度額の引き上げについて次のとおり案が示されました。

賦課(課税)限度額の引上げ案(令和6年度)

| | 医療分 | 基礎賦課分 | 後期高齢者 支援金等 | 介護納金分 | 合計 |
|------|------|-------|---------------|-------|-------|
| 引上げ前 | 87万円 | 65万円 | 22万円 | 17万円 | 104万円 |
| 引上げ後 | 89万円 | 65万円 | 24万円 | 17万円 | 106万円 |
| 引上げ幅 | +2万円 | 増減なし | +2万円 | 増減なし | +2万円 |

